

伊藤 美和子

専任講師

研 究 業 績

2026年4月1日現在

著書・論文等の区分	著書・論文等の名称、発行所・発表雑誌・学会等の名称、共著の場合の編者・著者名、該当頁数	発行・発表年月
著書（分担執筆）	西口光一編『文化と歴史の中の学習と学習者－日本語教育における社会文化的パースペクティブ』「第8章 第二言語学習と人格形成を研究する」168～187頁． 凡人社．	2008.5
著書（分担執筆）	ロシア語教育研究会編『授業づくりハンドブック ロシア語』「第12章 授業をつくる」221～237頁． 大阪大学出版会	2008.12
著書（共著）	菅原健太・伊藤美和子・渡邊舞・明田川知美著『教育原理』「第2章外国の教育思想Ⅰ」18～31頁；「第3章外国の教育思想Ⅱ」32～44頁；「第9章外国の教育の歴史」130～141頁． 豊岡短期大学．	2019.3
著書（分担執筆）	心理学者ヴィゴツキーのユダヤ人としての苦悩と克服．花園大学人権教育研究センター編『花園大学人権論集 32 多様性を包む共同体は可能か？－他者の理解から共感へ』129-161頁．	2025.3
論文（単）	コミュニケーション・タスクが学習成果と学習活動に及ぼす影響－ロシア語教育における言語活動理論の実践－．神戸大学発達科学部人間科学研究センター『人間科学研究』11巻1号：75～87頁．	2003.11
論文（単）	A・A・レオンチェフの言語活動理論とヴィゴツキー．ヴィゴツキー学協会『ヴィゴツキー学』第5号：31～39頁．	2004.3
論文（単）	どのように日本人学生を目覚めさせるのか？－言語活動の習得過程における人格発達の分析－（露語）．«Русский язык за рубежом» No. 3 『海外のロシア語』2004年3号：22～28頁．	2004.11
論文（単）	人格活動アプローチが学習成果や学習活動、人格発達に及ぼす影響について（露語）．日本スラブ東欧学会 «Japanese Slavic and East European studies» vol. 25：131～151．	2005.3
論文（単）	ヴィゴツキーの人格論－構造・意味・社会・ドラマからの探求．ヴィゴツキー協会『ヴィゴツキー学』第8号：13～23頁．	2007.7
論文（単）	ヴィゴツキーの発達論を基点に外国語教育の問題を再考する試み．日本ロシア語教育研究会『ロシア語教育研究』創刊号：15～28頁．	2010.11
論文（単）	ヴィゴツキーによるポテブニャの批判と受容－「内的形式」の解釈を中心に－．ヴィゴツキー学協会『ヴィゴツキー学』別巻第1号：17-27頁．	2010.12
論文（単）	フンボルトとヴィゴツキーの比較研究：心と自然の媒介としての「内的形式」をめぐって（露語）．Материалы XV Международных чтений памяти Л. С.	2015. 2

	Выготского, Т.1. 『ロシア国立人文大学第 15 回ヴィゴツキー記念研究大会論集』 第 1 巻 : 191~194 頁.	
論文 (単)	日本の母語・外国語教育に対するグローバル化の影響と文化歴史的アプローチ (露 語) Вестник РГГУ. Серия «Психология. Педагогика. Образование». № 4 (147). ロシア国立人文大学紀要 (心理学・教育学・教育) 147 巻 4 号 : 106~117 頁.	2015. 2
論文 (単)	遊びにおける学びと大人の役割についての考察—ヴィゴツキーの遊び論を基礎に —. 豊岡短期大学『論集』第 14 号 : 375~384 頁.	2018.2
論文 (単)	子どもにおける詩的思考と言語表現の考察と教育への示唆—ヴィゴツキーの発達 論を軸に—. ヴィゴツキー学協会『ヴィゴツキー学』別巻 5 号 : 145~155 頁.	2018.11
論文 (単)	保護者と子どもの今後の育ちを展望する支援の効果—「サンタクロースからのプレ ゼント」に関するアンケート調査をもとに—. 豊岡短期大学『論集』第 15 号 : 67 ~76 頁.	2019.3
論文 (単)	保育者養成課程における絵本理解を深める教育方法の実践—絵の分析と絵本作家 による講演を中心に—. 豊岡短期大学『論集』第 17 号 : 85~94 頁.	2021.3
論文 (単)	ヴィゴツキーの発達論におけるポテプニャ言語学の役割—『教育心理学』を中心に —. ヴィゴツキー学協会『ヴィゴツキー学』増刊第 1 号 : 1~9 頁.	2021.11
論文 (単)	絵本理解を深める教育方法の実践—学生による絵本の翻訳を中心に—. 豊岡短期大 学『論集』第 18 号 : 39~47 頁.	2022.3
論文 (単)	絵本の対話的鑑賞としての翻訳は文章に対する認識を高めるか—保育者養成課程 における実践をもとに—. 関西教育学会『関西教育学会年報』通巻 46 号 : 72~76 頁.	2022.8
論文 (単)	寓話分析における形式と内容についての考察—ヴィゴツキーの芸術心理学に基づ いて—. 『ヴィゴツキー学』増刊第 2 号 : 39-50 頁.	2023.11
論文 (単)	L. S. ヴィゴツキーの年齢発達論の原理的考察 : 保育者が 18 歳までの育ちを見通 すために. 『花園大学社会福祉学部研究紀要』第 32 号 : 61~76 頁.	2024.3
論文 (単)	選ばれ記憶される昔話「三びきのこぶた」の型についての—考察—保育者養成課程 の学生を対象とした調査をもとに—. 『花園大学社会福祉学部研究紀要』第 33 号 : 25~35 頁. 『福祉と人間科学』第 36 号 : 3~15 頁.	2026.3
論文 (単)	ヴィゴツキーによる悲劇の意味の探求と心理学への道 : ドストエフスキー論を契機 として.	
翻訳 (共)	L. S. ヴィゴツキー著『情動の理論—心身をめぐるデカルト、スピノザとの対話』. 神谷栄司・土井捷三・伊藤美和子 他. 三学出版.	2006.7
翻訳 (共)	V. V.ソローキナ著『小学生の心のトラブル』. 中村和夫・伊藤美和子訳. 新読書社.	2008.7
翻訳 (共)	L. S. ヴィゴツキー著『「人格発達」の理論—子どもの具体的心理学』. 土井捷三・ 神谷栄司監訳. 三学出版.	2012.11
翻訳 (共)	ヴィゴツキー、ポラン著『言葉の内と外—パロールと内言の意味論』. 神谷栄司編集・	2019. 6

	訳・著述／小川雅美・伊藤美和子訳．三学出版．	
翻訳（共）	ヴィゴツキー著『学齢期の児童学 - 子どもの文化的発達理論 - 』「第4章 学齢期における記憶」「第5章 思考と言語」．『ヴィゴツキー学別巻第3号』；51～86頁．伊藤美和子・神谷栄司・土井捷三訳．	2014.11
翻訳（共）	ヴィゴツキー著『学齢期の児童学 - 子どもの文化的発達理論 - 』「第6章 学童の情動と創造」．『ヴィゴツキー学別巻第4号』；87～97頁．伊藤美和子・神谷栄司・土井捷三訳．	2016.11
翻訳（共）	ヴィゴツキー著『学齢期の児童学 - 子どもの文化的発達理論 - 』「第7リテラシーの教育とコンプレックス的教授・学習」．『ヴィゴツキー学別巻第5号』；145～155頁．伊藤美和子・神谷栄司・土井捷三訳．	2018.11
翻訳（共）	ヴィゴツキー著『学齢期の児童学 - 子どもの文化的発達理論 - 』「第8章 いろいろな子どもたち」．ヴィゴツキー学協会ホームページ / https://vygotsky.web.fc2.com/psa_toc.html 【参照年月日 2023年3月22日】 伊藤美和子・神谷栄司・土井捷三訳．	2020.11
翻訳（共）	ヴィゴツキー著「精神技術学的研究の体系における高次知的機能の問題」．『ヴィゴツキー学増巻第1号』；107～115頁．吉國陽一・伊藤美和子・土井捷三訳．	2021.11
翻訳（共）	L. S. ヴィゴツキー著「ヴィゴツキーノート第7章「ザハリイノ」病院から」（共訳者名：土井捷三、伊藤美和子、吉國陽一、西本有逸）『ヴィゴツキー学』増刊第2号：83-100.	2023.11
翻訳（共）	猿・自然人・子ども—労働と言語の歴史主義心理学—．共訳者名：神谷栄司．三学出版．	2024.7
その他（解説）	ヴィゴツキー、ルリア著『猿・自然人・子ども—労働と言語の歴史主義心理学』（三学出版）解説、担当：2～5（292～298頁、7頁分）。	2024.7
その他（事典項目）	『教育方法学事典』所収の項目「想像力」、「ヴィゴツキー」．第2章子どもの発達と教育方法／第2節子どもの知的発達と教育方法 49頁「想像力」、第10章教育方法の歴史と実践／第1節人名編（西洋）315頁「ヴィゴツキー」。	2024.10
口頭発表（単）	文法指向型コミュニケーション・タスクの学習成果と学習活動への効果—言語活動アプローチの試み．日本ロシア文学会研究発表会．於：東京外国語大学、府中市．	2002.11
口頭発表（単）	A・A・レオンチェフの言語活動理論．ヴィゴツキー学協会主催ヴィゴツキー学第5回大会．於：神戸市勤労会館、神戸市．	2003.11
口頭発表（単）	意味の発達と外国語の教授と学習（露語）．5-th International Vygotsky Memorial Conference．於：ロシア国立人文科学大学、モスクワ市．	2004.11
口頭発表（単）	動的な意味体系としての人格—ロシア語学習者における意味のダイナミズム．第16回日本発達心理学会研究大会．於：神戸国際展示場、神戸市．	2005.3
口頭発表（単）	児童学としての「年齢期の問題」．ヴィゴツキー学協会主催ヴィゴツキー学セミナー．於：神戸市勤労会館、神戸市．	2006.8
口頭発表（単）	日本におけるヴィゴツキーのアイデアの展開（露語）．7-th International Vygotsky	2006.11

	Memorial Conference. 於：ロシア国立人文科学大学、モスクワ市.	
口頭発表(単)	ヴィゴツキーの言語思想. ヴィゴツキー学協会主催ヴィゴツキー学第9回大会. 於：神戸市勤労会館、神戸市.	2007.9
口頭発表(単)	ヴィゴツキーはポテブニャをどう理解したか. ヴィゴツキー学協会主催ヴィゴツキー学第11回大会. 於：神戸市勤労会館、神戸市.	2009.11
口頭発表(単)	ことばとともに在るもの—遊び vs. 学びを超えて—. ヴィゴツキー学協会主催ヴィゴツキー・セミナー. 於：神戸市勤労会館、神戸市.	2012.8
口頭発表(単)	ヴィゴツキーの文体論におけるフンボルトとポテブニャの影響. ヴィゴツキー学協会主催第14回ヴィゴツキー学研究大会. 於：神戸市勤労会館、神戸市.	2012.11
口頭発表(単)	ヴィゴツキーとポテブニャ言語学(露語). 13-th International Vygotsky Memorial Conference. 於：ロシア国立人文科学大学、モスクワ市.	2012.11
口頭発表(単)	ロシアの初等教育における言語教育と教育文化についての予備的研究. 比較教育学会第49回大会. 於：上智大学、東京都千代田区.	2013.7
口頭発表(単)	母語と外国語を例にした外言と内言の人格発達の分析. ヴィゴツキー学協会主催『「人格発達」の理論』翻訳出版記念ヴィゴツキー研究集会. 於：神戸市勤労会館、神戸市.	2013.8
口頭発表(単)	言語の機能論的解釈をめぐるヴィゴツキーとポテブニャ、フンボルトの比較研究. 日本教育方法学会第49回大会. 於：埼玉大学、さいたま市.	2013.10
口頭発表(単)	日本の教育に対するグローバル化の影響と文化歴史的アプローチ(露語). International Conference « Школа без границ » (独立系一般教育調査機関 Evrika 主催、国際教育研究大会「国境のない学校」. 於：モスクワ市.	2014.10
口頭発表(単)	フンボルトとヴィゴツキーの比較研究—心と自然の媒介としての「ことばの内的形式」をめぐる—(露語). 15-th International Vygotsky Memorial Conference. 於：ロシア国立人文科学大学、モスクワ市.	2014.11
口頭発表(単)	サンタクロスに対する態度にみる子どもの発達と人とのかかわり—保護者・大学生対象アンケート調査を基に. 日本保育学会第71回大会. 於：宮城学院女子大学、仙台市.	2018.5
口頭発表(単)	子どものことばにおける論理性と詩性—ヴィゴツキー、ポテブニャ、チュコフスキーから視座を得て—. 日本保育学会第72回大会. 於：大妻女子大学、東京都千代田区.	2019.5
口頭発表(単)	言語教育における詩性の意義. 日本教育方法学会第55回大会. 於：東海学園大学、名古屋市.	2019.9
口頭発表(単)	絵本をスロー・リーディングする試み—実践方法と課題—. 日本保育学会第73回大会. 於：奈良教育大学、奈良市.	2020.5
口頭発表(共)	トランスナショナル空間における記号の役割—社会学的・教育学的検討—. クラシナ, オリガ. 伊藤美和子. ヴィゴツキー学協会主催ヴィゴツキー学第21回大会. 於：神戸市勤労会館、神戸市.	2019.11

口頭発表（単）	保育の場にふさわしい絵本の結末の検討. 日本保育学会第 75 回大会. 於：聖徳大学、オンライン開催、松戸市.	2022.5
口頭発表（単）	「三びきのこぶた」はどのように記憶されているか. 日本保育学会第 76 回大会. 於：熊本学園大学、オンライン開催、熊本市.	2023.5
口頭発表（単）	読み手の心を動かす作品の構造についての考察：ヴィゴツキーの『芸術心理学』を軸に. 絵本学会. 於：大阪大谷大学、富田林市.	2023.6
口頭発表（単）	ヴィゴツキーの発達論の原理的考察. 日本教育方法学会第59回大会. 於：慶応義塾大学、東京都港区.	2023.10
口頭発表（単）	心理学者ヴィゴツキーの苦悩と克服. 花園大学人権教育研究会第124回例会. 於：花園大学、京都市.	2024.7
口頭発表（単）	L.S.ヴィゴツキーの思想形成におけるユダヤ人問題の影響. 日本教育方法学会第60回大会. 於：北海道大学、札幌市.	2024.10
口頭発表（単）	ヴィゴツキー心理学の胎動期. 日本発達心理学会北海道地区懇話会主催オンラインシンポジウム「いまヴィゴツキーをなぜ読むのか」.	2024.12
口頭発表（単）	『ヴィゴツキー研究記録選集』の構成・特徴・意義. ヴィゴツキー学協会主催ヴィゴツキー学研究発表会 2025. 於：中央区文化センター、神戸市.	2025.11
口頭発表（共）	Repetition, Anticipation, and Imagination – Emergent Meaning in English Interaction Among Children and Adults at Home in a Japanese EFL Context— Midori Tanimura, <u>Miwako ITO</u> , Mikihiko Tanaka 電子情報通信学会（思考と言語研究会）. 於：台湾国立精華大学、台湾。	2026.3
その他（外部機関での研究）	北海道大学スラブ研究センター協同利用型研究	2010 年度
その他（外部機関での研究）	北海道大学スラブ研究センター協同利用型研究	2016 年度
その他（外部資金の獲得）	日本学術振興会 基盤研究 (C) 「研究ノートを主軸としたヴィゴツキーの「自由の心理学」復元の試み」研究代表者	2025